

台風23号水害から22年

風水害から命を守るため避難行動の確認を

近年、これまでにない規模の豪雨が、全国各地で甚大な被害をもたらしています。

台風23号水害から22年となる今年度は、風水害時に迷うことなく的確な避難行動が取れるよう、各世帯で「マイ避難カード」を作成・修正し、カードで決めた避難行動を確認・実施する市民総参加訓練を実施します。

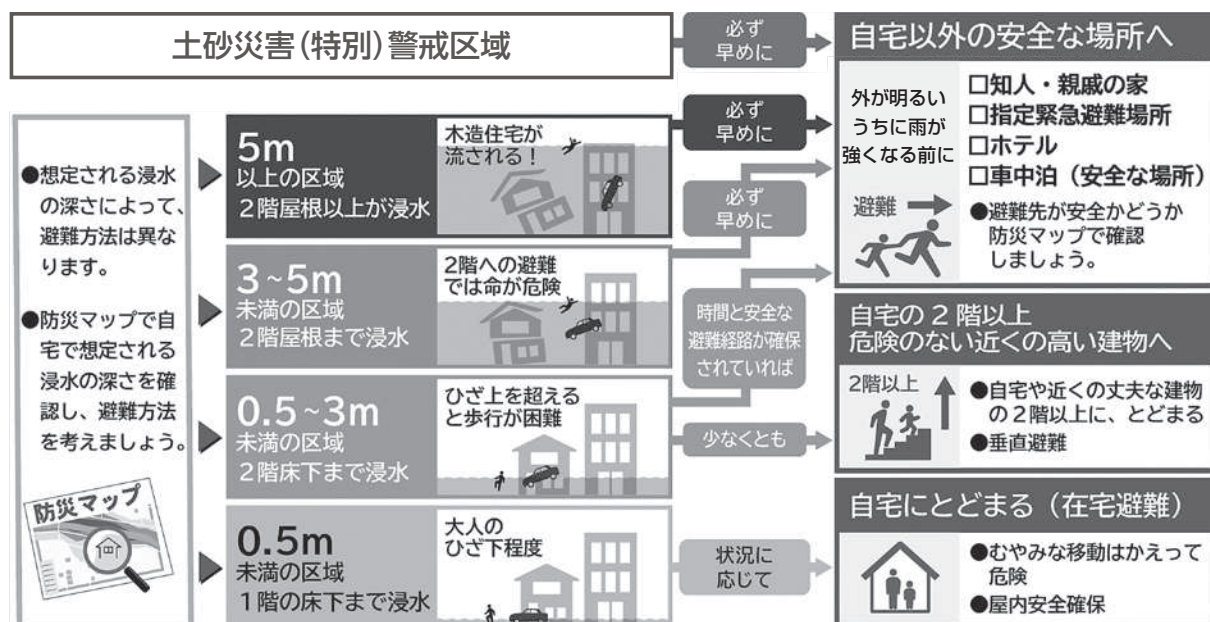
《問合せ》危機管理課 ☎23-1111

各家庭でマイ避難カードを作ろう

マイ避難カードとは、災害の危険が迫っている時に「どこに」「いつ」「どのように」「誰と」避難するかを、あらかじめ自分(世帯)で決めておき、自宅内の普段から目につく場所に貼っておくなど、いざという時の避難行動に役立てるためのカードです。(P3 上図参照)

1 自宅の災害リスクを確認し、事前に避難先を決めておく

下の図を参考にして、防災マップで想定される自宅の災害リスクを確認し、事前にどこに避難するかを家族で決めておきましょう。



2 事前に避難するタイミングを決めておく

逃げ遅れを防ぐため、防災マップを確認し、自宅が浸水が想定される区域、土砂災害警戒区域の方は、下の図を参考にして、避難先へ避難を開始するタイミングをあらかじめ家族で確認しておきましょう。

1 自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ

はい

2 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3
高齢者等避難

が出たら
安全な親戚・知人
宅へ避難

警戒レベル3
高齢者等避難

が出たら
市の指定緊急避難
場所などへ避難

警戒レベル4
避難指示

が出たら
安全な親戚・知人
宅へ避難

警戒レベル4
避難指示

が出たら
市の指定緊急避難
場所などへ避難

※本紙に掲載している情報は編集時点(7月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

マイ避難カード

氏名

マイ避難カード
作成方法は
こちら



防災マップで自宅の災害リスク(災害の危険性)を確認してください。

▶ 自宅の浸水想定 ▶ 土砂災害(特別)警戒区域内かどうか

	最善(ベスト)	次善(セカンドベスト)	三善(サードベスト)
どこに	例 親戚・知人〇〇宅	例 指定緊急避難場所〇〇	例 自宅より安全な近所の〇〇宅
いつ	例 台風接近の前日までに	例 高齢者等避難が発令されたら	例 避難指示が発令されたら
どのように	例 〇〇に迎えにきてもらう	例 徒歩〇〇分、自家用車〇〇分	例 徒歩〇〇分
誰と	例 家族の〇〇と	例 家族〇〇人で	例 家族〇〇人で

何を持って
(1~2日分
を持参する)

食料品

飲み物

生活用品

最後の手段 万が一逃げ遅れた場合は、建物の2階以上の、崖や斜面から最も離れた部屋で安全確保を図ってください

防災マップは
こちら



▲マイ避難カード記入例。家族で話し合いながら作成してみましょう。

風水害を想定した市民総参加訓練を実施します

実施日時 **8月30日(日)**

午前 **8** 時から

【防災行政無線放送スケジュール】

午前 7 時 45 分 市民総参加訓練実施のお知らせ

午前 8 時 自主避難を呼び掛ける放送

午前 8 時 15 分 警戒レベル 3 高齢者等避難

午前 8 時 30 分 警戒レベル 4 避難指示

風水害に備え、全市民を対象にした防災訓練を実施します。

防災行政無線放送に従い、各世帯で「マイ避難カード」で決めた避難行動を確認・実施してください。各世帯で防災リュックを携行し、避難先までの経路の確認、避難に要する時間を計測してください。また、区、町内会で訓練が実施される場合は、積極的な参加をお願いします。

※当日、市の指定緊急避難場所の開設は行いません。

■ 2026年4月に危機管理部の中に「防災支援室」を設置しました ■

～地域防災体制の再構築に重点的に取り組みます～

(1) 市役所の体制



いつ災害が起きても機能する市役所であるため、防災体制の再構築に取り組みます。

(2) 他の市町や企業などとの協体制



協定

市だけではなく、多様なひと、組織のノウハウとチカラを活用して、災害に立ち向かう仕組みを整えます。

(3) 災害への備え



- 支援が必要になった時の受入れの仕組み
- 災害時用の備蓄
- 自主防災組織の強化

※兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」の無料相談会を実施します。詳細は11ページをご覧ください。